

サッカー2級審判員更新講習会を開催

サッカー2級審判員を対象とした更新講習会を1月17日にひとめぼれスタジアム宮城で開催しました。

この講習会は県内のサッカー2級審判員を対象とした更新講習会で、当日は65名の審判員に参加をいただきました。

今回は2017年度に南東北インターハイのサッカー競技が宮城県で開催されることから、インターハイに向けての準備として「第4の審判員役割と任務」「副審の任務」「主審と副審、第4の審判員の協力」をテーマにグループワークを中心に構成し、活発な意見が飛び交い有意義な講習会となりました。

また、加藤審判員長による2016年度の審判委員会の方針説明、大槻翼ユース審判員による全日本少年サッカー大会の報告も合わせて行いました。



平賀 玄太 審判員コメント

南東北インターハイが近づく中で、今回の更新講習会は私にとって非常に有意義なものでした。西村一級審判員、平間一級審判員より、副審及び第4審判員について、その役割や試合に臨む基本的な考え方について、具体的な実例を挙げて講義していただきました。日本のトップリーグで活躍されている審判員が実際にどのように試合に臨んでいるかは私たちにとってとても興味深く、今後の審判活動に役立つものでした。特に南東北インターハイが本県でも開催されるため、私自身審判員としてのスキルや知識を向上する必要性を強く感じています。その中で、今回の講義では、これまで曖昧であった部分が明確になり、試合に臨むスタンスも大きく変わりました。また、ユース審判活動の報告もあり、同じ審判員として刺激を受けるものでした。今後も、自らのスキルを上げるため、向上心を持ち、意欲的に活動していきたいと改めて考えることができました。

畠山 大介 審判員コメント

今回の講習会を通して、競技規則の深い理解に繋がったように感じました。加藤委員長からの昨シーズンの振り返りでは、自分の活動を振り返ったりや仲間の活躍を知ったりすることができ、2017南東北インターハイに向けた今シーズンの意気込みを新たにすることができました。

西村雄一氏、平間亮氏によるグループディスカッションでは「副審と第4審との協力」という普段扱わないテーマだったこともあり、審判の理解を今まで以上に深めることができました。

特に、「試合後のテクニカルエリアのマネジメント」や「アドバンテージの際の競技者の確認」など、普段打ち合わせで見落としがちな視点を、グループ活動の中で確認できました。また、Jリーグの映像を用いたディスカッションでは、様々な視点からの主審の援助を考え、「より良い判定」や「納得できる判定」とは何か考えることができたように感じます。

今回の研修を踏まえ、新しいシーズンに向けて良い準備をしていきたいと思えます。